

---

# 第3期南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略

---

(概要版)



2026年3月

沖縄県 南城市

## はじめに

地方版総合戦略は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案するとともに「地方版人口ビジョン」を基に、地域の実情に応じた中期的な基本目標、施策の方向性等を示すものです。

2014年11月、国においては、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度な人口集中を是正することを目指し、「まち・ひと・しごと創生法」を施行しました。これは、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくためのものです。

地方創生の取り組みの第1歩として、国は、日本全体の長期的な人口像を描く「長期ビジョン」及び、これを実現するための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2014年12月）を策定しました。これに伴い、市町村に対しても、区域の実情に応じた地方版総合戦略の策定が求められました。

本市においては、2016年2月に、将来の人口展望をとりまとめた「南城市人口ビジョン」及び、第1期の地方版総合戦略として「※南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略」（対象期間2015～2020年度）を策定し、長期的な目標の達成に向けた各種取り組みを推進してきました。その後、2021年3月には「第2期南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略」（対象期間2021～2025年度）を策定し、継続して取り組んできました。

今回策定した「第3期南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略」は、第2期戦略の検証を行うとともに、デジタル技術の活用や広域連携など、国が2025年6月に打ち出した「地方創生2.0」の方針も勘案し、整理したものとなっております。

本戦略を南城市のさらなる飛躍に向けた指針と位置付け、持続可能で魅力あるまちづくりの実現に向け、取り組みを推進してまいります。

※「ちゃー」とは、沖縄方言で「ずっと」という意味、継続的なまちづくりの推進を示しています。「GANJU（がんにゅう）」とは、健康で頑丈を意味し、同時に「(G) 元気で、(A) 明るく、(N) 仲良く、(J) ジンブン：知恵ある、(U) ウマンチュ：万人」の社会、まちづくりを示しています。

## 1. 地方創生総合戦略とは？

- 地方創生総合戦略は、各自治体が地域の特性や課題を踏まえ、人口減少対策や地域経済の振興などを目的に策定する計画です。概ね5か年の具体的な施策と数値目標(KPI)を盛り込み、自治体ごとのビジョンに基づいて地域の実情に応じた取組を進めるもので、国、沖縄県の戦略を踏まえ独自に策定されます。
- 南城市の現行の「第2期南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略」の計画期間は2021～2025年度の5か年となっているため、今年度、「第3期南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略」(2026～2030年度)を策定しました。

## 2. 国（地方創生2.0）、沖縄県の動き

国においては、令和4（2022）年12月に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定、令和5（2023）年12月に改訂版（対象期間：令和5（2023）～9（2027）年度）が示されました。

沖縄県においても、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の改訂を受け、令和6（2024）年1月に沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（沖縄県デジタル田園都市構想総合戦略）を改訂しています（計画期間：令和5（2023）～9（2027）年度）。

国においては、10年前に地方創生を開始して以降、好事例が生まれたことは大きな成果ですが、人口減少や東京圏への一極集中の流れを変えるまでには至らなかったことから「地方創生2.0」を起動させるとし、令和7（2025）年6月に基本構想、令和7（2025）年12月には、これまでの「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を変更し、「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」（対象期間：令和7（2025）～令和11（2029）年度）が閣議決定、策定されています。また、「強い経済」の実現に力点を置いた全体戦略としての「地域未来戦略」を令和8（2026）年夏頃に取りまとめることとなっています。

本市の第3期戦略においては、国の基本構想を踏まえ、県の方針が示された後、必要に応じ、適宜見直しを行うものとしします。

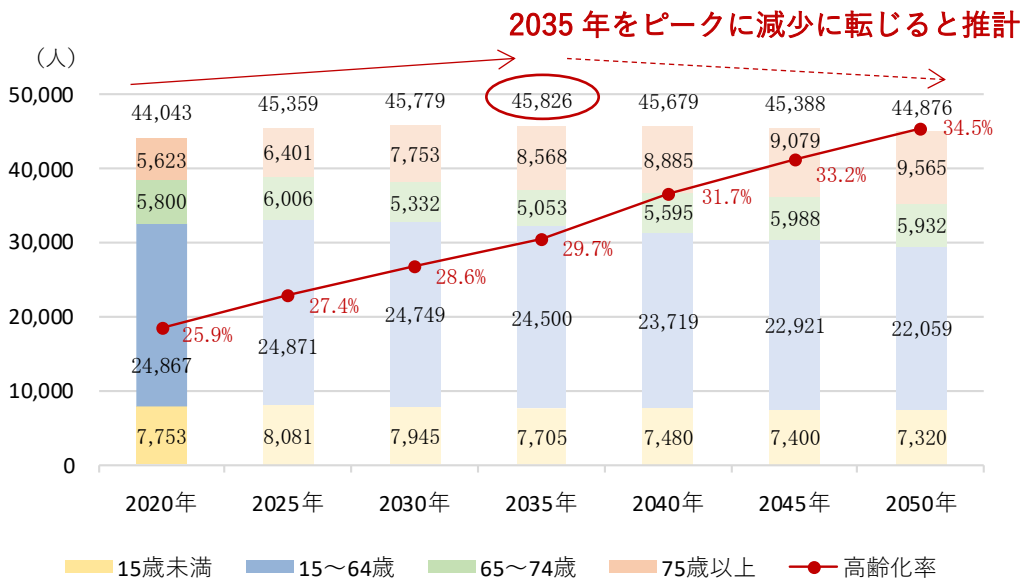
なお、本市の第3期戦略は国、県の考え方を踏まえ定めるもので、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に規定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置づけ、「地域未来交付金」等を活用することにより、本市の地方創生の取組を加速させるものとなります。

### 3. 南城市の人口

#### 将来推計人口

- 総人口は R17 (2035) 年の 45,826 人をピークに一転減少に転じ、R32 (2050) 年に 44,876 人 (2020 年から 833 人減) と推計されています。
- R32 年の年少人口は 7,320 人 (16.3%、2020 年から 433 人減)、生産年齢人口は 22,059 人 (49.2%、2,808 人減)、老年人口は 15,497 人 (34.5%、4,074 人増) と、今後、少子高齢化が進行すると見込まれます。

【南城市の将来推計人口】

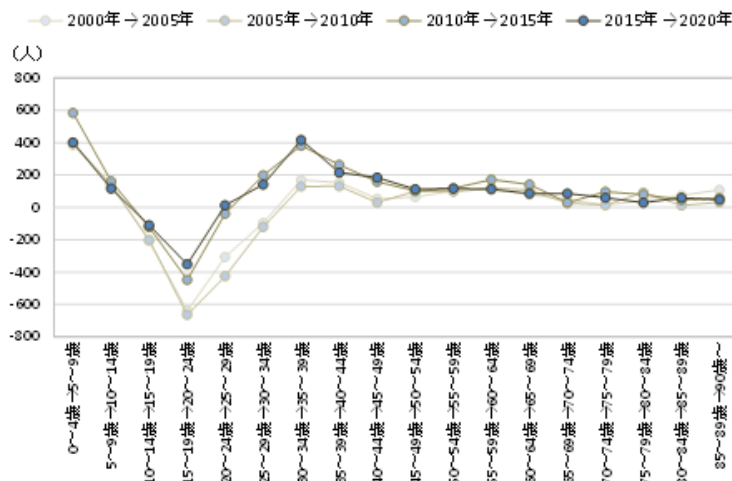


(資料) 国立社会保証・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和 5(2023)年推計」

#### 社会動態

- 年齢別の社会動態について高校や大学・専門学校への進学、就職のタイミングで大きく転出超過となっているものの、20～30代で転入超過となっており、Uターンする割合が多いと想定されます。

【年齢階級別純移動数の推移】



## 4. 第3期戦略の体系

第3期南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略の体系は以下の基本目標と施策の方向性、それに付随する主な取り組みを想定しています。



## 5. 基本目標

第3期南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略には2つの横断的目標と4つの基本目標があります。4つの基本目標にはそれぞれ4つの施策の方向性を定めています。

**横断的目標 1 AI・デジタルなどの新技術を活用した各種業務の効率化・生産性向上**

**横断的目標 2 医療・教育・観光面での広域連携強化**

## 基本目標

### 1

# 働く場所が整い、誰もが住みたくなるまち

## 稼ぐ産業の実現

### 《目指す姿》

- 南城市の基幹産業である農水産業や商工業全般の持続的発展と基盤充実を図り、従事者の所得向上につなげる。
- 農水産業と観光、地域産業との連携を強化し、付加価値を創出することで、市内従業者全体の所得向上につなげる。

### 《主な取り組み》

- 市内産業と企業誘致推進による産業基盤の拡充
- 農商工連携と6次産業化による地域内経済循環の促進

## 多様な働き方・働きやすい

## 職場づくりの推進

### 《目指す姿》

- 子育て世代や高齢者、障がい者など、多様な人材が自分のライフスタイルに合わせて働ける場が整備され、人手不足の解消につながる。
- 勤務時間の柔軟化に加え、リモートワークやデジタル技術の活用により、場所にとられない働き方が可能となり、世帯収入の向上と働きやすい職場環境の実現につながる。

### 《主な取り組み》

- 雇用機会創出と就職支援

## 起業・創業環境の整備

### 《目指す姿》

- 南城市で起業・創業を志す人が、市内で安心して開業できる環境が整備され、インキュベーション施設を退去した後も市内で事業を継続できる仕組みが確立されている。
- 起業・創業を検討する人が南城市の支援を受けながら開業できる環境が整い、地域に新たな産業や雇用が生まれている。

### 《主な取り組み》

- 起業支援体制の強化と事業承継支援

## 人材の育成・確保と

## 移住・定住促進

### 《目指す姿》

- 市内で働きたい人が必要なスキルを身につけられる環境が整備され、安心して地域に定着できる。仕事の機会不足を理由に転出することがない状況を実現する。
- 移住希望者と地元企業とのマッチング機会が継続的に提供され、就業を通じて移住・定住が促進される。

### 《主な取り組み》

- 移住・定住基盤と交流拠点の整備
- グローバル人材の育成と教育支援の充実

基本目標

2

子育て世代にやさしく、誰もが住みやすいまち

子どもが遊べ子育て世代が  
集まれる場所の創出

《目指す姿》

- 自宅近くに子どもが安心して遊べる公園や広場が整備され、子育て世代が自然に集まり交流できる環境がある。
- 親同士が子育ての悩みや経験を共有し、地域全体で子育てを支え合うコミュニティが形成されている。

《主な取り組み》

- 多様な体験機会の創出や子どもの居場所づくり
- 地域資源を活用した交流空間創出

まちに不足する機能の創出

《目指す姿》

- 市内に通える病院があり、かつ、病院に通わなくても診察を受けられる環境が整備され、医療機関に通う必要がある人も安心して暮らせるまちとなっている。
- 小児科や学習塾など市民ニーズの高い施設について、近隣市町村の情報を市民に共有する仕組みが整い、子育て世代も安心して住み続けられる環境が実現している。

《主な取り組み》

- 先導的都市拠点の整備促進や公共交通利用の機会創出
- SNS等活用による情報発信・情報ネットワーク創出

市内外の移動がしやすい

環境の整備

《目指す姿》

- 親の送迎に頼らずに、市外の高校へ安心して通学できる交通環境が整備されている。
- 高齢者や障がい者などの移動制約者も買い物や日常生活で利用しやすい公共交通が確保され、不便さを感じない生活環境が実現している。
- 観光客にとっても利用しやすい公共交通が整備され、地域の交流と観光振興につながっている。

《主な取り組み》

- 公共交通の利便性向上及び利用促進
- 観光交通の充実

気軽に子育て相談できる

環境の整備

《目指す姿》

- オンラインなどデジタル技術を活用し、気軽に子育て相談ができる環境が整備され、多くの市民が利用している。
- 地域の公民館等で子育て世代を対象としたイベントが継続的に開催され、気軽に参加でき、相談や交流を通じて地域全体で子育てを支え合う環境が実現している。

《主な取り組み》

- 重層的な相談支援体制の構築
- 子育て支援センター等の活用による子育て環境の醸成

基本目標

3

多様な世代が活躍し、地域に活力があるまち

ムラヤー<sup>※</sup>を活用した  
市民の交流促進

《目指す姿》

- 地域住民が自治会活動に積極的に参加し、ムラヤー<sup>※</sup>を拠点とした交流やにぎわいが生まれ、地域コミュニティが活性化している。

《主な取り組み》

- 地域活動の自立化と地域活性化
- ムラヤー<sup>※</sup>整備事業の拡充

多様なイベントの開催による  
地域住民の交流

《目指す姿》

- ムラヤー<sup>※</sup>を主体として地域住民が多様なイベントを企画し、行政の支援も受けながら、多くの住民が参加することで交流が活発になり、地域コミュニティの絆が深まっている。

《主な取り組み》

- スポーツ等を通じた地域活性化
- 市民の多世代交流促進の活性化

災害に強い地域づくり

《目指す姿》

- ムラヤー<sup>※</sup>ごとに避難計画が策定され、定期的な訓練を通じて防災体制が強化されている。
- 地域を熟知する高齢者をはじめ、多様な住民が参画して避難計画が立てられ、世代を超えて地域の防災力が高まっている。

《主な取り組み》

- 国道・補助幹線道路の整備によるレジリエンス強化
- 自主防災体制の拡充による地域支え合いの強化

自然・歴史・文化資源の継承

《目指す姿》

- 拠点等を中心として観光客との交流を通じて地域の魅力が広く伝えられ、資源の継承と地域コミュニティの活性化につながっている。

《主な取り組み》

- 歴史文化発信拠点整備や南城市文化センター利活用
- 地域の歴史継承や自然環境保全

※ムラヤー：地域づくりの基盤となるコミュニティ（自治公民館等）

**基本目標** 市内外のファンを増やして、

4

**交流人口が拡大し地域がにぎわうまち**

**観光客と市民の交流促進**

《目指す姿》

- 民泊や農泊を通じて観光客と市民が交流し、地域の暮らしや文化を体験できる環境が整っている。
- 観光客と地域住民が共に参加できるイベントが継続的に開催され、交流を通じて地域の魅力が広く発信され、コミュニティの絆が深まっている。

《主な取り組み》

- 交流型観光の PR と観光コンテンツ造成による体験型観光の推進
- 第1次産業の新たなライフスタイルの創出・発信

**関係人口の拡大**

《目指す姿》

- 南城市に関心を持ち、ファンが徐々に増えて地域にもにぎわいが創出されている。
- 関係人口の拡大に向けた情報発信が強化され、ふるさと納税や企業版ふるさと納税の活用を通じて、地域との継続的な関わりが促進されている。

《主な取り組み》

- 南城市への共感と愛着の育成
- 海外研修生の受入と海外留学生派遣

**広域連携の推進による誘客促進**

《目指す姿》

- 観光地域づくり法人(DMO)等を活用し、広域連携によって観光資源の魅力を高め、誘客促進につながっている。
- 情報発信においても広域連携を進め、地域全体の魅力が一体的に発信され、観光客の増加に結びついている。

《主な取り組み》

- 人的・歴史的ネットワークを通じた関係人口の創出
- 広域連携による南城市の魅力訴求と情報発信強化

**多様なツールを活用した**

**魅力の情報発信**

《目指す姿》

- 「ハートのまち南城市」のイメージや「なんじい」のキャラクターをはじめとする地域ブランド資源を戦略的に活用し、多様なツールを通じて効果的な情報発信を行い、南城市の魅力が広く浸透している。

《主な取り組み》

- 地域ブランド資産とデジタル技術を活用した情報発信
- シビックプライドの醸成とにぎわい創出

## 5. 南城市の目標

基本 目標	施策 番号	指標名	基準値 [2025年度]	最終目標値 [2030年度]	
1		平均所得水準（課税対象所得）	286万円	318万円	
		社会増減数	2,899人 (2020~2025年度累計)	3,189人 (2026~2030年度累計)	
		Well-Being市民アンケート 「私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」と思う市民の割合	8.9% (2025年調査)	11.90%	
	各施策の数値目標				
		企業誘致数	1件	3件 (2026~2030年度累計)	
	1	南城市農畜水産物利用促進拠点施設 (南沖縄市場)※に出展する生産者数	—	200生産者 (2026~2030年度累計)	
		南城市農畜水産物利用促進拠点施設 (南沖縄市場)※に関わる従業員数	—	30人 (2026~2030年度累計)	
	2	事業所と雇用のマッチング件数	60人	300人 (2026~2030年度累計)	
	3	起業創業支援拠点の設置数	—	1件 (2026~2030年度累計)	
	4	社会増減数 (再掲)	2,899人 (2020~2025年度累計)	3,189人 (2026~2030年度累計)	
2		15歳未満人口	8,161人 (2025年12月末)	8,577人 (2030年12月末)	
		Well-Being市民アンケート 「私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」と思う市民の割合	14.5% (2025年調査)	17.5%	
	各施策の数値目標				
		公園・緑地の再整備数	—	2件 (2026~2030年度累計)	
	1	まちづくり支援拠点内の 子どもの遊び場利用者数	—	50,000人 (2026~2030年度累計)	
		Well-Being市民アンケート 「私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」と思う市民の	48% (2025年調査)	51%	
	2	先導的都市拠点における 複合施設等整備数	1件	3件 (2026~2030年度累計)	
		Nバス利用者満足度	3.6点	3.7点	
		Nバス利用者数	229,068人/年	300,000人/年	
	3	Well-Being市民アンケート 「私の暮らしている地域では、公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる」と思う市民の割合	17.9% (2025年調査)	20.9%	
	新たな観光交通路線本数	—	1本 (2026~2030年度累計)		
4	デジタルツール等による 相談受付件数	235件/年	285件/年		

基本 目標	施策 番号	指標名	基準値 [2025年度]	最終目標値 [2030年度]	
3		地域コミュニティ計画の策定数	7件	5件 (2026～2030年度累計)	
		Well-Being市民アンケート 市民の生活満足度	6.6点 (2025年調査)	6.8点	
		Well-Being市民アンケート 「私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」と思う市民の割合	40.3% (2025年調査)	43.3%	
	各施策の数値目標				
	1	地域コミュニティ計画の策定数	7件	5件 (2026～2030年度累計)	
	2	自治会加入促進のイベント開催数	4件	20件 (2026～2030年度累計)	
		自治会加入促進のイベント開催支援数	17件	53件 (2026～2030年度累計)	
	3	各自治会の避難計画策定数	1件 (2025年度)	10件 (2026～2030年度累計)	
		自主防災組織設置数	20件	20件 (2026～2030年度累計)	
		Well-Being市民アンケート 「私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」と思う市民の割合	22.4% (2025年調査)	25.4%	
	4	南城市歴史文化発信拠点の整備	—	2件 (2026～2030年度累計)	
		Well-Being市民アンケート 「私の暮らしている地域では、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」と思う市民の割合	35.7% (2025年調査)	38.7%	
	4		1人当たり旅行消費額 (出典：アンケート)	日帰り：7,000円 宿泊：47,000円	日帰り：9,000円 宿泊：52,000円
		延べ宿泊客数 (出典：地域カルテ)	538,578人/年	571,042人/年	
		来訪者満足度	92.40%	95%	
各施策の数値目標					
1		市民と観光客の交流イベント参加者数	8,400人/年	8,900人/年	
2		ふるさと納税受入件数	16,123件	82,000件 (2026～2030年度累計)	
3		民間企業や他自治体と連携した観光振興取組数	—	1件 (2026～2030年度累計)	
4		観光関連の情報発信閲覧数	880,301回/年	930,000回/年	

※南城市農畜水産物利用促進拠点施設（南沖縄市場）は公民連携事業

## 6. 第3期戦略とSDGsとの関連性

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称であり、平成27(2015)年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、令和12(2030)年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール(目標)と169のターゲット(より具体的な目標)から構成され、全ての関係者の役割を重視し、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指しています。

本市においても、第2期戦略に引き続き、今後の施策の企画・立案・実行の各プロセスにおいて、SDGsの理念に配慮した施政運営に努めていく必要があることから、第3期戦略でも、基本目標及び施策の方向性と主たる17ゴールとの関連性を示しています。

### 【SDGsの17のゴール(目標)】

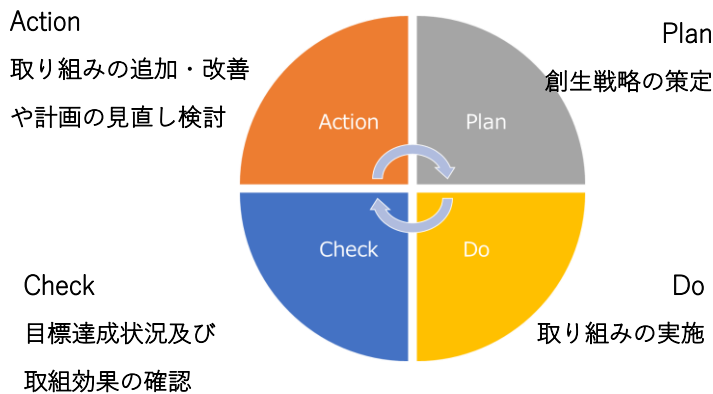
 <p><b>1 貧困をなくそう</b></p>	 <p><b>2 飢餓をゼロに</b></p>	 <p><b>3 すべての人に健康と福祉を</b></p>	 <p><b>4 質の高い教育をみんなに</b></p>	 <p><b>5 ジェンダー平等を実現しよう</b></p>	 <p><b>6 安全な水とトイレを世界中に</b></p>
<p><b>目標1 [貧困]</b> あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	<p><b>目標2 [飢餓]</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p><b>目標3 [保健]</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<p><b>目標4 [教育]</b> すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p><b>目標5 [ジェンダー]</b> ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う</p>	<p><b>目標6 [水・衛生]</b> すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
 <p><b>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b></p>	 <p><b>8 働きがいも経済成長も</b></p>	 <p><b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b></p>	 <p><b>10 人や国の不平等をなくそう</b></p>	 <p><b>11 住み続けられるまちづくりを</b></p>	 <p><b>12 つくる責任 つかう責任</b></p>
<p><b>目標7 [エネルギー]</b> すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p><b>目標8 [経済成長と雇用]</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>	<p><b>目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]</b> 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進</p>	<p><b>目標10 [不平等]</b> 国内及び各国家間の不平等を是正する</p>	<p><b>目標11 [持続可能な都市]</b> 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p><b>目標12 [持続可能な消費と生産]</b> 持続可能な消費生産形態を確保する</p>
 <p><b>13 気候変動に具体的な対策を</b></p>	 <p><b>14 海の豊かさを守ろう</b></p>	 <p><b>15 陸の豊かさを守ろう</b></p>	 <p><b>16 平和と公正をすべての人に</b></p>	 <p><b>17 パートナリシップで目標を達成しよう</b></p>	
<p><b>目標13 [気候変動]</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p><b>目標14 [海洋資源]</b> 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>	<p><b>目標15 [陸上資源]</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>	<p><b>目標16 [平和]</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>	<p><b>目標17 [実施手段]</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	

## 7. 進捗管理

### (1) 基本方針

本戦略を進めるにあたっては、PDCA マネジメントサイクルの考え方のもとで進捗管理を行います。設定した KPI の達成状況やその効果を検証し、PLAN【計画】⇒DO【実施】⇒CHEK【評価】⇒ACTION【改善】を繰り返すことで、事業の改善を図りながら進捗を管理します。

戦略に変更等が生じる際は、創生推進本部会議に諮ることとします。



### (2) 進捗確認

毎年度、担当部署が KPI に設定した取り組みの進捗状況を表す数値を庁内事務局へ報告します。庁内事務局はデータを整理し、本戦略の全体及び各基本目標に関する取り組み状況、数値目標達成へ向けた進捗具合を把握します。

大幅な進捗の遅れや、社会状況などの大きな変化があった場合は、創生推進本部会議にて検討し、必要な措置を講じます。

### (3) 最終検証

2030 年度に、KPI を設定した取り組みの進捗と、数値目標の達成度合いについて最新のデータを収集して行います。行政内部に検証チームを置くほか、有識者等で構成される外部検証委員会を設けるなど、下記体制に基づき、幅広い視点から議論・検証を行います。

